

関節リウマチと合併症としてのシェーグレン病

横浜南共済病院 膠原病リウマチ内科 仲野寛人

関節リウマチ

主に手と足の指の関節炎をおこす炎症性疾患

原因は遺伝と環境：喫煙・歯周病など

リウマチ科で一番多い疾患：有病率は70-140人に1人

関節腫脹→破壊→生活力低下→健康寿命短縮を防ぎたい

目標は寛解：治療していれば治っているも同然の状態・内服を中断できる例は約10%程度

シェーグレン病

全身の乾燥を主体とする自己免疫の病気

免疫は体を外界から守る仕組み

自己免疫は間違っただけあなたの体の一部を敵認定

病気により様々なトラブルが発生：シェーグレン病の場合、主に涙腺・唾液腺

1930年にスウェーデン人が発見・口と目の乾燥症状がしやすい(腺病変)

頻度は2000-10000人に1人(0.01-0.05%)・40-60歳女性に多い

関節リウマチ患者の1-2割に併存するとされる

2025年からシェーグレン症候群→シェーグレン病に

乾燥症状

目の乾き：ドライアイ・異物感・涙が出ない

口の乾き：唾液減少・虫歯が増える・飲み込みづらい

その他：皮膚・鼻・気道・膣の乾燥

治療の手立てがまだない

全身倦怠感：だるさ・疲れ

隠れた甲状腺疾患・睡眠時無呼吸・線維筋痛症などがある場合も

治療をする場合がある

神経：足の感覚がない・ビリビリ痛い・体の一部が動かない

肺：間質性肺炎 皮膚・関節 血液：貧血など 腎臓：塩分バランス不良

シェーグレン病の診断：2016年の基準では4点以上とされる

血液検査(3点)：抗SS-A抗体

唾液腺生検(3点)：口腔外科で手術

眼科診察(2点) 唾液検査(1点)

シェーグレン病の治療

根本的に治す薬はまだない

乾燥症状の治療（点眼薬・唾液分泌を助ける薬など）

環境：水分補給・カフェイン↓・禁煙・Screen time↓・加湿器・“タマネギゴーグル”

点眼：ヒアレインミニ®（保存料なし）1日4回以上点眼する場合・ジクアス点眼®・ムコスタ点眼®

無糖（シュガーレス不可）・キシリトールで唾液促す

口腔刺激物回避：コーヒー/飲酒/喫煙

酸回避：コーラ/ハーブティー

水分摂取・鼻腔ポリープ除去・口呼吸回避

サリグレン® cevimeline：嘔気

サラジェン® pilocarpine：発汗・注意が多い（喘息・網膜剥離・肝胆膵炎前立腺・甲状腺・多発性硬化症）

サリベートエアゾール®：人工唾液

ダゾダリベプ：倦怠感に効く可能性が!?

神経障害や臓器障害があるときには免疫抑制剤を使用することがある

神経障害で足が動かない：ドロップフット

間質性肺炎で呼吸が苦しい

血液の細胞（血小板）が減って出血が止まらない

費用が高くなる場合難病（特定疾患）申請検討

生活の質を保つことが大切

歯科受診をお勧めします：定期的にクリーニング・早期発見・早期治療

カンジダ症に注意

シェーグレン病にカンジダ（真菌（カビ）感染症）合併多い

乾燥だけで口は痛くならないとされます

燃えるような感覚で酸・刺激物が食べられない・口角（唇の端）・舌がツルツル

悪性リンパ腫に御用心

一番重要な合併症・一般人口に比べて 10-15 倍・診断後 8 年で発症（中央値）

悪性リンパ腫とは？：白血病と双璧をなす血液のがん・リンパが腫れることが多い

診断：CT で腫れている臓器を探す・リンパ節などの病理検査が必要

治療：抗がん剤・移植など

シェーグレンの会